

大野市総合戦略

平成30年度の実績に対する評価と意見

◆ 平成30年度実績に対する人口減少対策会議委員の評価結果

	施策1	施策2	施策3	施策4
A評価	10%	45%	10%	20%
B評価	85%	50%	45%	70%
C評価	5%	5%	45%	10%

【説明】 A評価（順調に進んでいる）／B評価（まだ判断できない）
C評価（新たな視点での取り組みが必要）

（参考）平成29年度実績に対する人口減少対策会議委員の評価結果

	施策1	施策2	施策3	施策4
A評価	14.3%	35.7%	0%	35.7%
B評価	64.3%	64.3%	35.7%	50.0%
C評価	21.4%	0%	64.3%	14.3%

◆ 人口減少対策会議委員からの意見

【施策1：安定した雇用を創出する】

- ・ 林業関係の雇用は停滞しており、今後の事業拡大を図るには、「森林環境譲与税」を活用した就業支援、人材育成を考慮してほしい。
- ・ 農林業の維持、発展は順調に進んでおり、これをうまく活用すると新しい人の流れにもつなげられるのでは。
- ・ 誘致する企業の職種と若者が希望する職種についても考えていかなければならない。
- ・ 市外から就職した人に対する支援ができないか。
- ・ 新規企業誘致による雇用創出は評価できるが、既存企業の人材不足が大きいので、IJUターンに更なる促進、就職支援が望まれる。
- ・ 人口減少の原因として、大野には働く場所がないと言われるが、企業は人手不足に悩んでいると言う。働く場所はあるが魅力がないのでは。

- ・新規企業誘致は難しいと思うが、地元にも魅力ある企業が多くあるので、「大野市働く人にやさしい企業」を周知して認定数を増やしていただきたい。
- ・企業の人手不足が叫ばれている中、働き手の確保ができないと企業誘致も難しいと聞いている。働き手が集まる魅力ある企業に来てもらうには、中部縦貫道の全線開通などハード面の充実が必要。
- ・現在人手不足の中、中小製造業は多くの面から厳しい状況にある。いろんな補助金制度を利用していただいております、大変ありがたい。人手不足や商品の値下げ、物資の値上げ等問題がある中、労働条件の見直しや外国人労働者の採用、A I（自動化）と、各社いろんな取り組みを行なっている。一番心配しているのが生産ラインの自動化。自動化が進むと求人がなくなる。安定した雇用を創設していかなければいけない。
- ・大野市は自然も、水も豊かで住みやすいまち。福井市のベッドタウンになるためには、境寺～計石間の158号線バイパスの早期完成を県、福井市に強力に働きかけて欲しい。

【施策2：新しいひとの流れをつくる】

- ・年々目に見えて観光入込数は増えているので、ハードの整備に加えてソフトの充実やお金を落としてもらう仕掛けを増やし、リピーターの取り込みにも取り組んでもらいたい。
- ・まちなか観光は確実に増加していると思う。今後は、大野市の歴史文化をもっと掘り起こして強化する。越前大野城の平成～令和の御朱印は良い企画だった。御朱印は今ブームになっている。インバウンドへの対応も必要だと思う。
- ・外国人の集客に力を入れてはどうか。
- ・ホームページやフェイスブックの閲覧数は増えているのに、外国人宿泊者数が少なく残念。インバウンドにもさらに力を入れる必要がある。
- ・中部縦貫道の日も早い完成を目指し、企業誘致を進めてほしい。
- ・進学などで県外に出た若者が地元に戻ってこられるような思い切った政策が重要。
- ・壮年、中年層の生涯現役を実現できる方策も大事。75歳未満は壮年として考えるべき。
- ・大野へかえろうは、高校生にも好評だった。今年の卒業式ではこの企画が無かったので、どうなったのかと高校生から聞かれた。高校生は大野市にとって将来を担う大切な人財。引き続き続大野へかえろうを進めてほしい。
- ・定住人口の増加促進、減少に歯止めをかける施策をまず重点化し、ヒト、モノ、カネを集中投下する。同時に外貨獲得による所得向上、雇用確保に資する取組みを促進する。これらを測る統一の指標設定を。
- ・大野市に生まれ大野で住みたいと思う人もいれば、もっと便利な街に住みたいと思う人もいる。大野を、便利な街に住みたいと思う人も住める街にすることはできないと

思う。なぜ大野が良いと住んでくれる人たちがいるのか。この部分をしっかり伸ばして、アピールしていくべきではないか。四季折々の自然に囲まれているからこそできるリラクゼーションタウンみたいなものも良いと思う。

- ・東京では山手線近郊に住みたいのが現在の流れで、郊外で一軒家を持つのは夢ではなくなっているという。
- ・地域に根付いたブランドを考える必要があるのでは。
- ・いろいろな取組みをされており、「天空の城」をはじめ「結」という言葉も知られるようになったのではないではないか。今後の取組みに期待する。
- ・文化芸術事業では、COCONOアートプレイスの他、耐震基準、老朽化で課題のある文化会館の建て替えが必要と思われる。
- ・久々に大野に勤務することになり感じたことは、①国道158号、中部縦貫道が整備され、福井市からのアクセスが大変良くなっている ②中心市街地が整備され大変きれいになっている ③結とびあ、学びの里めいりん等の福祉、教育の中心施設が充実した ④地元の資源を生かそうという取組や、地元の子どもをみんなで育てようという連携がしっかりあり、市として「結の故郷」という方向性が明確に見える 等、地域、民間、行政が連携し明るくきれいなまちづくりが進んでいること。大野市に住む人には、より住みやすいまちになり、昼間短時間観光等に訪れるには魅力的なまちになっている。反面、宿泊がやや不便なこと、公共交通機関が不便なことがあり、長時間の滞在が難しいように感じる。また、県内はどこも住みやすいので、大野でなくてもと思われるかもしれない。企業や大学等、大きな活力が入ってきてくれると良いが、全体としては大変良く取組を進められていると感じている。

【施策3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる】

- ・結婚のための経済支援策があっても良いのでは。
- ・若者の出会いの場を作れないか。道の駅に若者の集う場所。（体験を含めて）
- ・婚活事業については、なかなか難しいようだ。今後に期待する。
- ・子育て支援については順調に進んでいると思うが、結婚支援による婚姻率、出生率の改善について新たな視点での取組みが必要。未婚の人の話や結婚間もない人など若い人の意見から何か見つけられないか。
- ・婚姻率が低い。
- ・子育ては効率が悪いものなので、ある程度ゆとりがないとできない。今の若い世代は経済的にも精神的にもゆとりを持つことが難しいので、何か「ほっとさせてあげられる」ような施策ができれば。
- ・子どもを豊かな自然の中で育てたいと思い、大野へ移住してきたが、子どもを通わせたいと思う学校がないという理由で、違う土地へ移住した人がいる。学校再編を機に、

学校教育のあり方から作り直すことが必要。すばらしい教育が受けられる土地には必ず人が集まると思う。

- ・福井県は子育てしやすい環境だと思うが、大野市で出産できる病院があっても良いのではと思う。福井市が近いから大丈夫ではなく、安心して出産できるような環境というのも大事なのではないか。現状の社会では子どもをつくらない理由に、この先日本が良くなることがあるのか不安という声もある。今の若者は自然にそういうことも感じているのではないか。人の原点に立ってみんなで助け合う町というのも大切。

【施策4：時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する】

- ・青年団体や各種市民団体がさらに活性できるような支援（お金のみならず会議会場や事業会場の支援）の充実が望まれる。
- ・若い世代を巻き込んだ施策から生まれた提案やコンテンツをしっかりと活かしてまちづくりに取り組む。（わたしが未来の市長、CWP、大野へかえろう など）
- ・人口減少に歯止めをかけるには、若い世代への結婚、出産、子育てへの支援は必要不可欠。その為には、出産前から高校卒業まで切れ目のない子育て支援が必要と思われる。出産祝い金、高卒まで医療費の無料化や学校給食費の無料化など思い切った支援が必要でないか。
- ・これだけ少子高齢化が進むと自主防災組織にも限界がある。防犯カメラ等の取り付けも必要。
- ・大野では、おじ、おばが孫の面倒をみるなど都会と違って子育てがし易い環境にある。都会では保育所へ入るのも大変、また、学校に行くようになると学童、塾などに費用が掛かるなど大変、その点地元では子供への教育も大変手厚い。子育てが充実している点を強調する。
- ・Iターン、Uターン、移住者の促進を図る。県外に出て行って広報や大野市の魅力を発信する。
- ・少子化で学校の再編が課題となっているが、地域に学校が無くなってしまうとますます地域は寂れてしまうので問題。
- ・越美北線の利用度アップ。えちぜん鉄道が施設設備などで良くなっているが、越美北線は車両故障もあつたりして、車両も古く見劣りがする。越美北線は、便数も少なく通勤に不便であるが、京福バスと連携して、例えば、行きは越美北線、帰りは京福バスでも補助できるような仕組みができないものか。そうすれば通勤利用も増えるのではないか。
- ・名水と安全安心な暮らし、時代に合った地域づくりの関連性が弱い。
- ・キャリングウォータープロジェクトについても大切なことだと思う。心配しているのは、大野のまちもいろんな工事が進む中、飲み水は本当に大丈夫なのかということ。今ある水が同じ水質のまま今後何十年と守られていくことが最重要。水が飲めない原因は下水にあると話を聞いたことがあるのでとても不安。

- ・いろいろな取組みをされているが、「結」というものを前面に出しているなら一番達成しなければならない項目だと考える。

◆ 意見から見えるキーワード

【施策1：安定した雇用を創出する】

- あらゆる産業分野での担い手確保、人材育成

【施策2：新しいひとの流れをつくる】

- 海外誘客の促進
- 若者の流出阻止と定住促進

【施策3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる】

- 子育て世代に対する、さまざまな観点での支援

【施策4：時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する】

- 世代、グループ、地域などにおける「つながり」の再認識